

3D and Finland

— 北欧の妖精、ムーミンロールの立体映像が生まれるまで —

講演者：河合 隆史 (かわい・たかし)

早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科 教授

日 時：平成 26 年 3 月 8 日(土)

14:00~15:30

場 所：香川大学研究者交流スペース
(香川大学研究交流棟 5 階)

対象者：一般市民先着 50 名



入場料
無料

主催：香川大学博物館

共催：香川大学生涯学習教育研究センター

3D and Finland

講演者プロフィール

河合 隆史 (かわい・たかし) 早稲田大学 基幹理工学部 表現工学科 教授

1993年早稲田大学人間科学部卒業。1998年同大学院人間科学研究科博士後期課程修了後、同大学人間科学部助手、同大学国際情報通信研究センター専任講師などを経て現職、現在に至る。

専門は、人間工学。立体映像(3D)やバーチャルリアリティ、ユビキタスコンピュータなど、次世代のメディアとヒトのインタラクションに関する研究に従事。

生体計測を中心とした評価研究に加え、その知見や手法を活用したコンテンツ制作にも携わる。

博士(人間科学)。認定人間工学専門家。



講演会概要

私とフィンランドとの交流は、2004年に遡る。米国で開催された立体視映像(3D)関連の国際会議で、ヘルシンキ大学のPsychology Of Evolving Media and Technology (POEM) プロジェクトに参加していたJukka Hakkinen博士との出会いである。翌年には同大学を訪問し、プロジェクトリーダーのGote Nyman教授と意気投合し、本格的な連携を開始した。研究の進展に伴い、2008年4月から家族でヘルシンキに在住し、共同研究に集中することを決意するに至った。

本講演では、フィンランド滞在中の研究や生活、さらに研究成果の社会還元として参加した北欧初の3D劇場映画「Moomins and the Comet Chase」などの概要を紹介する。

春

「時代を駆け抜けた銀塩カメラ -フィルムカメラ40台の展示-

特別展

併設 北欧のキオク ~北欧写真展~

期間：平成26年3月7日(金)~29日(土)

(休館：日曜・月曜・祝日)

主催：香川大学博物館

展示協力：鈴木桂輔(香川大学工学部准教授)

時間：午前10時~午後4時

入場料：無料

会場：香川大学博物館

● お問い合わせ

香川大学博物館

《住所》〒760-8521 高松市幸町1-1

《TEL/FAX》(087) 832-1300

《URL》<http://www.museum.kagawa-u.ac.jp/>

《E-mail》museum@ao.kagawa-u.ac.jp

● アクセスマップ



● 香川大学幸町北キャンパス



交通案内

※駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは、周辺のコインパーキングをご利用ください。

● JR 高松駅から

徒歩30分(駅前広場地下にレンタサイクルあり)

ことでんバス【1・2 市民病院ループバス】

…「香川大学教育学部」下車 徒歩1~2分

【13 弓弦羽】【15 香西車庫】

…「宮脇町」下車 徒歩5~6分

【11 弓弦羽(昭和町経由)】

…「幸町」下車 徒歩2~3分

● JR 昭和町駅から 徒歩5~6分

● ことでん 瓦町駅から

徒歩20分(駅地下にレンタサイクルあり)

ことでんバス【1・2 市民病院ループバス】

…「香川大学教育学部」下車 徒歩1~2分

【23 弓弦羽】…「宮脇町」下車 徒歩5~6分